

陽だまり通信

市民福祉活動団体
 「陽だまり」事務局
 東広島市西条朝日町十一一六
 (0824)二二四二一五

1100五年度陽だまり報告

会開催される一新年度に向

けし高次高一

去る四月二十六日(土)に、東広島市民文化センターにおいて平成十五年度陽だまり報告会(総会)が開かれた。

当日西岡代表のあいさつに続いて、審議に入った。恒例により平成十四年事業報告並びに決算報告について上程された。続いて監査報告がなされ承認された。

続いて平成十五年度の役員選出に移り別掲のとおり決定した。市川新代表のあいさつ後、後半の議事に入った。平成十五年度の事業計画並びに予算案の上程後質疑応答後採決され、賛同をうけていよいよ新体制のもと、新年度へ向けてスタートした。続いて会則の一部の変更がなされた。一年会費値上げに伴う

後報告事項として、資料に基づいて次の2点について学習した。
 第1点「NPO法人陽



代表 市川マヤ

今年度陽だまりの代表を務めさせていただくことになりました市川です。陽だまりの会員の中では最も年の若い一人で、社会経験はもろんのこと人生経験も不足していません。が西岡前代表はじめとした多くの先輩方の教えに導かれながらがんばっていきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

陽だまりは、ごく普通の主婦数名がそれぞれの夢を持ちよって集まったところからスタートしました。三年経ってその夢を及ぼすものではなかった。

陽だまりは、ごく普通の主婦数名がそれぞれの夢を持ちよって集まったところからスタートしました。三年経ってその夢を及ぼすものではなかった。

が大きく花開こうとしています。夢を持つということは、大きな力になります。人は夢を持つことで、人生や生活に生きがいや希望を見出します。夢を語れない場では、人は自分の持つ力を発揮できないでしょう。夢がなければ閉塞感のみが漂い、その団体は魅力を失ってしまうでしょう。魅力のない所に人は集まりません。市民活動は人命です。会員それぞれの持つ夢を大切に、そしてその夢が確かに社会に役立つというのだという手応えが得られるように、そんな活動をしていきたいと思えます。

今年もいろんな能力を持った方が集まりました。その能力を生かしていかにか社会に貢献するか、今から頭をひねっています。陽だまりはまだまだ発展途上です。これからどんな会に育っていくのか楽しみに見守ってください。

平成15年度 陽だまり役員

役職	氏名	資格・職業
代表	市川 マヤ	社会福祉士
副代表	西岡 好子	ホームヘルパー3級・民生委員
	廣瀬 吉夫	教育アドバイザー
事務局	佐々木 政美	ホームヘルパー2級
	中川 義子	ホームヘルパー2級
渉外・広報	廣瀬 長子	社会福祉士・民生委員
	前原 裕子	介護福祉士
監事	前原 一之	経営アドバイザー
	塩谷 茂	NPO法人芸南たすけあい 事務局長

平成15年度 生涯学習講座実施一覧

—東広島市教育委員会委託事業—

- ◎ 第1回 8月23日(土) 10時から11時30分
 テーマ 介護保険を上手く使う
 講師 東広島市高齢介護課職員
- ◎ 第2回 9月13日(土) 10時から11時30分
 テーマ 高齢期の生活設計と心構え
 講師 広島ビジネス専門学校講師 佐川先生
- ◎ 第3回 10月18日(土) 10時から11時30分
 テーマ 中高年のこころの健康
 講師 かなたクリニック院長 金田先生
- ◎ 第4回 11月15日(土) 10時から11時30分
 テーマ 日々楽しく生活するために
 講師 八本松病院 重藤先生

一般市民の参加大歓迎

陽だまり抄

娘よりやさしき心届く朝カーネーションの赤き束ゆれる

新調の紺のブレザーに紅きはほほ息はずませて新一年生



水仙

寄付金をいただきました。

- 匿名の方
- 秋元信雄様
- 秋元信雄様
- 平谷明子様
- 池尻律子様
- 以上です。ありがとうございました。

動とはうらはらにダイナミックなものが多い。「願い事むすぶ短冊風が読みさり気なくよまれているものの「風が読み」とは言い得て妙である。★残された感覚を総動員して渾身の思いで句作している姿を思うにつけまことに頭の下がる思いでいっぱいである。鋭い感覚は鋭いことばとなって作品に再現される。★わたしたちはともすると何も不自由ないからだを天から授かっていながら日々不平不満の体たらくで過ごしていないだろうか。★結局何も残らない。独創性からはおおよそ縁のない生活とやらに追われつづけているのではないだろうか。折角この世に生を得たのだから何か懸命になれるものをもつことは幸せである。★こんなあんなの思いをいだきながらこの人たちの句会に臨んでいる今日この頃である。—吉—

事務局だより



事務局長佐々木正美

◎事務局の移転

陽だまり事務局が高屋から西条の現在地に移って早くも2ヶ月が経とうとしています。わたしたち事務局員も仕事にも慣れ、また会員の事務局への出入りも頻繁になり、全体的にはもろあがってきています。

念のため現在事務局に常駐しているのは、市川佐々木それに早稲森の三名です。

◎会員の動静

四月からの陽だまり会員登録更新の受付がはじまり例年とほぼ同じ傾向

を示しています。引き続き登録された方、新規に会員になられた方と様々ですが、五月十八日現在で百八名を数えています。

今年度の傾向として特徴的なのは、他機関からの紹介で新規会員になられた方の多さです。これも今までの陽だまりの活動が地域社会に評価されている結果であると考えています。今後ますます自重して陽だまり活動の原点に立ち返りつつ活動に専念したいものです。

◎マスコミの取材を受ける

広島経済リポートという新聞社からの取材を受けました。陽だまりの宣伝になることを祈念しながらの取材に応じたわけです。詳しくは次号の陽だまり通信にて報告する予定にしています。

間という長時間の託児が事故もなく無事にこなせたことを心から感謝している次第です。



陽だまりの事務所の中で

早稲森美代子

だいたいヒマで、時間を持て余しぎみの毎日から四月の事務所開設を契機に事務所での電話番号をすることになりました。人生どこで時間を過ごすにしても同じこと...みんなに喜ばれるならということで、電話番くらいならという軽い気持ちで事務所に詰めるようになりました。

会員の声



地域社会のために 谷屋 洋美

事務所の中にはお茶入れコーナーがあります。どうぞお出しなすならカルキを含んだ水道水より、わが家で長年飲んでる打ち抜きの水をと、毎日水を持ってきて、常時お湯が沸いている状態にしています。みなさんも事務所遊びにきてください。おいしいお茶においしいコーヒー(インスタントですが)と一緒にのみませんか。いつでもおいでをお待ちしています。

平成15年度報告書一読させて頂きました。益々の組織の地域社会での御活躍が感じ取られました。これからももっともつと東広島市民の住みやすい社会の為に御努力を期待しております。

休日活動

気になる男

福祉活動もたてまえどおりにはいきませんね。緊急を要することがあるからです。隣近所を誘い合ったり様子をながめているひまはない。消防自動車と同じで時と所を選びません。

陽だまり活動だっておなじことかもしれない。たてまえからいえば五時までは活動しません。土曜、日曜、祭日はもちろん世間なみに休みです。しかし、実際にはそんなこともいつおれなくて陽だまり閉店後も活動しなければならぬことあるわけなんです。要するに少ないスタッフの中で時間をいわずに活動している実態のあることを

しつてほしいわけなんです。将来は医療機関のように休日活動もできる態勢がとれるといいですね。

編集後記

朝の用なかれと思いきや新茶汲む 秋桜子 皆さんのかがお過ごしでしょうか。陽だまり通信第十号をお届けいたします。

新聞やテレビでいろいろな事件や出来事を見たり、聞いたりするにつけ、一体世の中どうなっているのか、本当にわからなくなってしまう。そんな時、新茶でも淹れて季節の香りを味わってみる心のゆとりを持ちたいものです。 スタッフ一同頑張っています。どうか皆さんのご支援をよろしくお願いします。(長)

シリーズ

子育てバンザイ

一回目 山本陽子

「ただいまーお母さん どこ？」と元気一杯汗びっしょり。

私も小学生の頃はそうだった。「おかえり」の言葉が聞きたくて、母の姿

探し回った。なのに母と なった今。(何の用事?) とつい思ってしまう冷たい私。夕方遅くまで遊んで疲れて帰った息子達は、抱きもせず些細なことでケンカをはじめ気がつけば親の権限で勝利する。余り先々言ううと嫌がるに、子どもは純粋な心を

遊び、結局また雄叫びをあげる。 確か先日、「お母さん は怒らな話すね」と約束したのに、でも子どもはそんな私を責めず、私が反省して謝ると「僕のは悪い」と謙虚な返事を、子どもは純粋な心を

ケンカもするけど、子どもから受ける喜びと笑顔で、幸福を感じられるのは我が子のおかげ。「親バカ」という言葉もとてもよくわかるようになった。

常日頃子どもに伝えようとしていた素直な心、慈悲、耐え、見守る気持ち、結局は逆で、むしろ

教えるもらった。だからせめて、あなた達が自分で生きて行けるまで、ゆっくり温めて自然に巣立ってくれることを楽しみにまた明日も頑張ろうー。えっ?もうこんな時間だ。早くしなきゃ、今日のお風呂当番は...、つまされ一面ではホットしている。明るくて、慈悲深い親の、とりわけ母

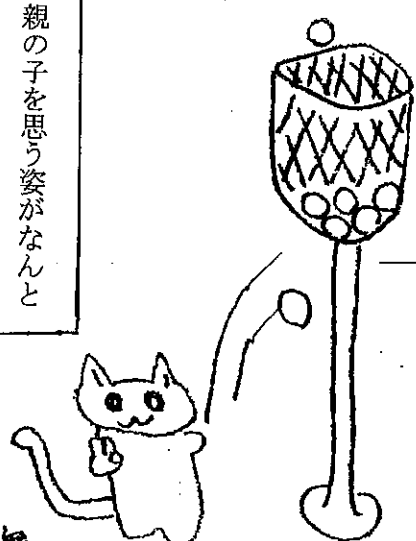


水の都の命がみ ラテ、オスとラテ、マス 瑞希

読後感

子育て風景がよく描かれていて興味深いですね。子どもに対するたてまえと本音の部分が率直であることもいいですね。これを読む人はみんな身にも言えませぬ。

親の子を思う姿がなんと次回がたのしみです。 一廣瀬記



舞